

景観形成基準チェックシート

※適合する項目のチェック欄に、レ点を記入してください。

		景観形成基準	チェック欄												
建築物の形態意匠	壁面	・華美な装飾等は避け、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮したデザインとする。													
		・建築物の壁面の位置は、周囲のまちなみとの連続性に配慮したものとする。													
		・河川沿いや対岸等からの見え方に配慮して、河川に面する3階以上の外壁面は、1階外壁面より原則として90cm以上後退させる。ただし、河川に面する外壁面を河川から十分に後退させ、かつ、河川の緑と連担した敷地内の緑化等により景観に配慮された場合は、この限りでない。													
	屋根	・西山の眺めや周囲のまちなみと調和したデザインとする。													
・太陽光発電設備を設置する場合のパネルの色彩は、光沢の少ない黒、暗い灰色又は濃紺とする。 ・高さ10mを超える建築物については、原則両流れの勾配(3/10から5/10までの勾配)屋根(原則として軒の出は60cm以上、けらばの出は30cm以上)とする。															
駐車場	・河川に面して一定規模以上の駐車場を設ける場合は、門、塀又は生垣等による目隠しや緑化ブロックによる緑化の工夫など、周囲の景観との調和に配慮する。														
建築物の色彩		・建築物の色彩は、以下に定める色彩基準に適合するとともに、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮したものとする。 ただし、建築物の着色していない木材、土壁、石材などの自然の素材及びガラスなどの材料によって仕上げられる部分の色彩、又は建築物の見付面積の5%未満の範囲で外観のアクセントカラーとして着色される部分の色彩については、この限りでない。また、歴史的な社寺や、地域に親しまれる景観資源となっている建築物等については、必要に応じて色彩基準の適用除外とする。													
	屋根以外	【色彩基準】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R・YR系</td> <td>4～9</td> <td>5以下</td> </tr> <tr> <td>Y系</td> <td>4～9</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>R・YR・Y系以外</td> <td>4～9</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table> N系については、明度を定めない。 ただし、全面に黒を使うことは避け、明度4程度の暗い灰色とする、あるいは黒と他の色を組み合わせるなど、圧迫感を軽減するよう配慮する。	使用する色相	明度	彩度	R・YR系	4～9	5以下	Y系	4～9	4以下	R・YR・Y系以外	4～9	2以下	
使用する色相	明度	彩度													
R・YR系	4～9	5以下													
Y系	4～9	4以下													
R・YR・Y系以外	4～9	2以下													
	屋根	【色彩基準】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R・YR・Y系</td> <td>4以下</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>R・YR・Y系以外</td> <td>4以下</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table> N系については、明度5.5以下とする。	使用する色相	明度	彩度	R・YR・Y系	4以下	4以下	R・YR・Y系以外	4以下	2以下				
使用する色相	明度	彩度													
R・YR・Y系	4以下	4以下													
R・YR・Y系以外	4以下	2以下													
素材・材料		・西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮した素材及び材料を使用するように努める。 ・外壁、屋根に使用する材料は、光沢の少ないものとする。													
敷地内の緑		・敷地面積×1/400本以上の中高木(高さ1.5m以上)を植栽する。なお、設置基準の小数点以下は四捨五入とする。 ・植栽については、できるだけ道路に面する部分に設置するとともに、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮する。													